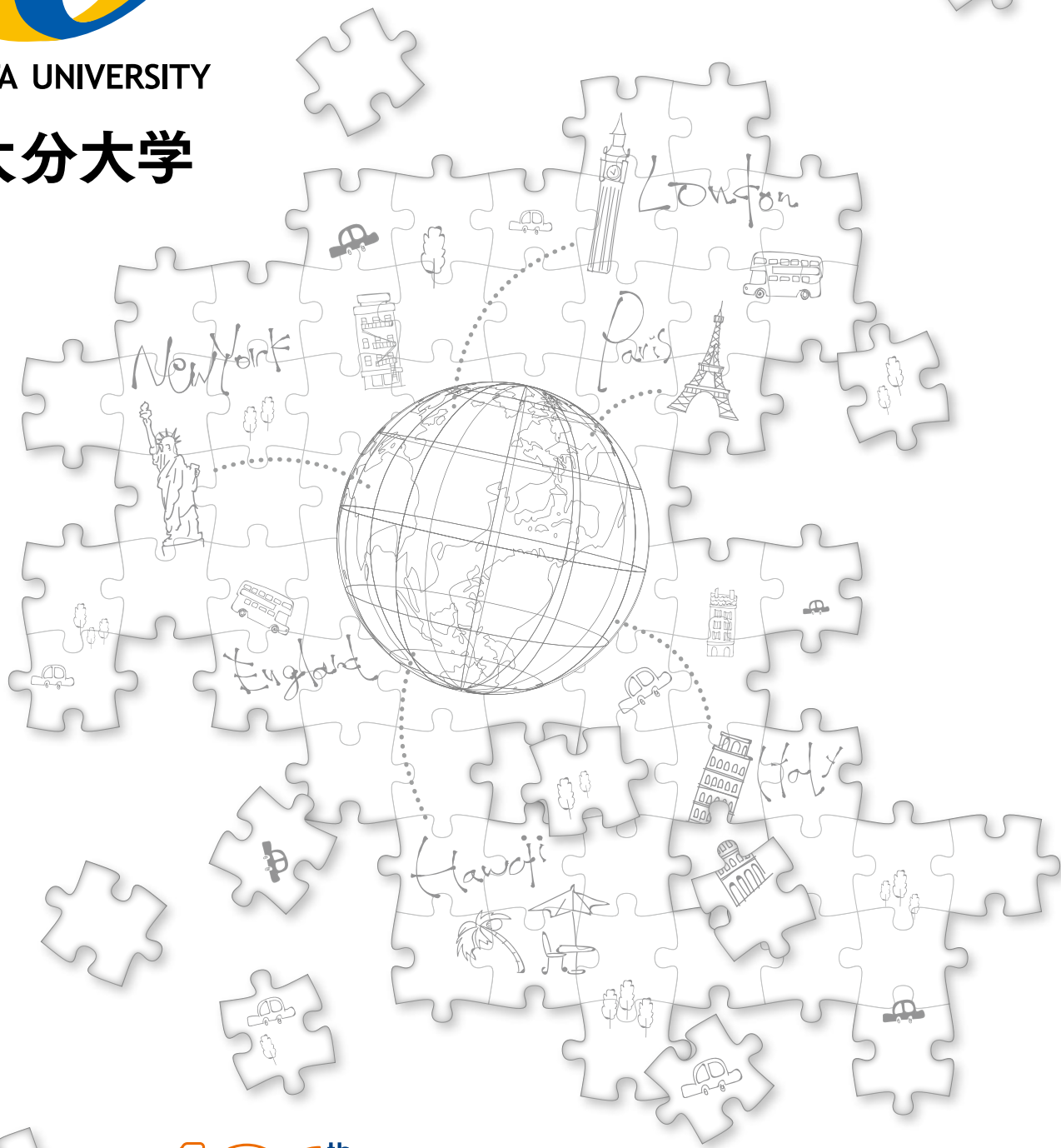




OITA UNIVERSITY

大分大学

# 経済学部 概要



2022年、大分大学経済学部は  
創立100周年を迎えます

THE OUTLINE OF THE FACULTY  
OF ECONOMICS OF OITA  
UNIVERSITY

2020

# 経済学部

地域に根ざし世界に羽ばたける人材を育てる

## 入試の種類

- 学校推薦型選抜
- 総合型選抜
- 一般選抜(前期・後期)
- 特別入試  
(帰国子女入試・社会人入試・私費外国人留学生入試)



経済学部サイト

<https://www.ec.oita-u.ac.jp>



経済学部長 高見 博之

## 学部長メッセージ 大分で、日本で、世界で活躍することをめざして

2022年に創立100周年を迎える経済学部は、2万人を超える卒業生を社会に送り出してきました。経済学部では、経済学、経営学を中心とした社会科学の様々な分野について、基礎から応用・実践に至るまで幅広く学修することを通じ、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を発揮するために必要な基礎的能力を高めることを通じ、経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することを目的としています。

2017年に、教育内容をさらに充実させるため「社会イノベーション学科」を新設しました。同時に学部全体として学際的・総合的な科目が履修できるようカリキュラムを編成しています。新しい「社会イノベーション学科」では、企業、行政あるいは組織間で、イノベーションを手がかりとして社会の課題解決に向き合う人材を養成することを目的とし、2020年度に最初の卒業生を送り出すことになりました。

経済学部の教育の大きな特徴は、次の3つです。まず、4年間の卒業までのすべての学期に少人数編成の演習科目を配置し、きめ細かな指導を行っています。次に、1年間留学しても4年間で卒業できるIBP(インターナショナル・ビジネス・プログラム)などの国際化に対応した教育を展開しています。最後に、経済学部同窓会四極会寄附議義「会社研究」をはじめ多くの社会人講義を通じて、社会の第一線で活躍される講師陣による経済社会の現場を知る機会を提供しています。

これらの多彩な教育内容に加えて、卒業生からの寄附による独自の奨学金や就職支援室による就職サポートといった学生支援体制も整っている経済学部でみなさんをお待ちしています。

## ADMISSION POLICY ※一部抜粋。詳細はホームページをご覧ください。

### 基本理念・目標

本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野について、基礎から応用・実践に至るまで幅広く学習することを通じて、経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。

こうした人たちが今日の高度化・複雑化する社会に柔軟に対応しながら、各方面で真価を発揮するためには、基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を発揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえで求められる実践力を身につけるためにも基礎的能力が重要です。そこで、学生の基礎的能力を高めることを本学部の教育目的とします。

この目的を達成するために基礎学力を伸ばすことのできる多様な授業、カリキュラムを編成するとともに、少人数教育に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を有する人材を養成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

### 入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般入試(前期日程、後期日程)のほか、推薦入試(普通推薦、商業推薦)、アドミッション・オフィス入試(AO入試)、社会人入試などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れます。

※各選抜試験で重視する力や視点について、詳細はホームページでご確認ください。

### 求める学生像

本学部は、経済社会の諸問題に関心をもつ人に対して、その基礎的能力を高めることを教育の目的としています。

したがって、本学部に入学者となる人は、経済社会への関心や基礎学力を有すると同時に、自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ学生であってほしいと考えています。特に、いきいきとした好奇心をもち続けられる人、しっかりした自分をもち自己表現ができる人、そして、バイタリティーあふれる人を本学部は求めています。卒業後の進路として、次のような目標をもっている人が入学することを歓迎します。

- 金融界で活躍することをめざす人  
(たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人)
- 産業界で活躍することをめざす人  
(たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事やベンチャービジネスの起業などをめざす人)
- 公務に携わることをめざす人  
(たとえば公務員、国税専門官、裁判所職員や警察などの仕事をめざす人)
- 会計や税務、法務に携わることをめざす人  
(たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人)
- 教育や研究に携わることをめざす人  
(たとえば高校教員や研究調査の仕事、また大学院進学をめざす人)
- 国際社会で活躍することをめざす人  
(たとえば国際公務員や海外ボランティア、また外国企業で働くことをめざす人)
- 地域社会で活躍することをめざす人  
(たとえば県庁・市町村役場やマスコミ、病院、福祉施設などで働くことをめざす人)

## 経済学部の学科

※所属学科は、2年次のはじめに振り分けます。

### 経済学科 [定員90名]

家計、企業、政府など経済主体の行動が生み出す経済現象、およびそれら相互の関係を分析します。

### 経営システム学科 [定員80名]

企業の経営組織、管理技術、財務分析、人事労務管理、会計などの科目を学習し、広く経営活動を理解します。

### 地域システム学科 [定員80名]

地域経済、法律、行政、福祉など住民の生活領域を総合的・学際的に学びます。また、異文化間コミュニケーションと国際相互理解を深める実践的な学習を行います。

### 社会イノベーション学科 [定員40名]

企業経営上の革新や、行政やNPO等による地域社会の課題解決について、地域における現場体験を組み込んだ実践的な教育を通じ、基礎から応用・実践まで段階的に学びます。

## 経済学部の教育

一人ひとりの個性を伸ばす

### 少人数教育

経済学部では、セミナー・演習による少人数教育に力を入れています。1年次から4年次まで、どの学期にもセミナー・演習があるのは本学部の特徴です。

セミナー・演習は、教員と学生、学生同士の集団的なやり取りの中で、学生自らが主体的に参加する実践的な授業科目です。基礎的な知識・理論・知的技法を習得するとともに、学生自身が自らの問題意識や課題を発見して学習すること、また報告や討論する力を伸ばすことが重視されます。

国際社会で通用する人材を目指して

### IBP インターナショナル・ ビジネス・プログラム

協定校への半年から1年間の留学による単位取得を柱として、国際社会で活躍できる人材の育成を目指すプログラムです。(※)

■留学前／留学希望の学生は、1年次より演習などの教育上の支援制度に基づき、留学への準備を進めます。

■留学中／交流協定校で正課ないし語学コースなどの予科や補講を履修します。これらの取得単位は、卒業要件上の単位として認定されます。また、留学中も所属する演習の担当教員からの指導を受けます。

■帰国後／留学成果を卒業論文などに反映させるよう取り組みます。卒業とともに、本プログラムの修了を証します。

※本プログラムでの留学に関しては、JASSO日本学生支援機構の特別奨学金および経済学部「久保奨学基金」など、いずれも返済義務のない給与奨学金制度が附属しています。

学生力を磨けば、伝統がバックアップ!

### 経済学部 就職支援室

経済学部就職支援室は、就職委員の教員と職員スタッフから構成され、就職ガイダンスや学内会社個別説明会の開催、エントリーシートの個別指導、企業訪問による求人開拓、ゼミ訪問等の活動を通じて、学生の就職活動をサポートしています。就職環境に関わらず90年を超える伝統に支えられた信用により千数百件もの求人が寄せられ、地元大分はもちろん、九州各県から京阪神や東京で数多くの先輩が活躍しています。

## 大分大学経済学部久保奨学基金

大分大学経済学部では、成績優秀者や海外留学生に奨学金を支給(返済は不要)しています。

成績優秀な在学生(2~4年生)に対する奨学金

選抜方法: 提出書類(当該年度の学習・生活計画)、成績点、面接によって選抜

- 人数: 入学年度ごとに各3名(計9名)
- 給付額: 1人年額60万円 ●期間: 1年間
- 給付回数: 奨学金の受給は在学中2回まで

IBP学生の留学期間中の奨学金

対象: 本学部留学生でインターナショナル・ビジネス・プログラム(IBP)に登録し、派遣留学生として海外留学する者のうち、留学期間に関して学内外の他の奨学金を受けていない者

- 人数: 10~20名程度
- 留学期間1セメスター: 24万円
- 留学期間2セメスター: 48万円

(支給額は前年度の実績です)



# 経済学科

グローバル化された社会で活躍する人材を養成します。

## ■カリキュラム ※下記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全学共通科目</li> <li>●外国語科目</li> <li>●導入教育科目</li> </ul>			
専門基礎科目	専門基礎科目 <ul style="list-style-type: none"> <li>●経済学入門 ●初級ミクロ経済学 ●初級政治経済学</li> <li>●経営学入門 ●会計学入門 ●法学入門 ●地域学入門</li> <li>●イノベーション・マネジメント入門</li> </ul>		<b>Pickup</b> <b>世界経済論</b> 世界経済を理解する上での基礎理論を学び、世界経済の構造や現状の理解を深め、幅広い観点から「世界経済を見る眼」を養います。	<b>Pickup</b> <b>政治経済学</b> 現在の経済の仕組みである資本主義がどのように成立し、どのような特徴をもっているのかを歴史的・理論的に明らかにしていきます。
専門教育科目	<b>Pickup</b> <b>金融論</b> 貨幣・金融の概念、金融制度、金融行政・政策を学ぶとともに、80年代以降の金融市場の変化と実体経済における金融の役割を検討します。	専門教育科目 <ul style="list-style-type: none"> <li>●開発経済論 ●西洋経済史 ●世界経済論 ●中級ミクロ経済学 ●中級マクロ経済学 ●政治経済学</li> <li>●金融論 ●グローバル化と政治経済 ●経済政策論 ●日本の社会保障 ●証券論 ●計量経済学など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中級セミナー</li> <li>●演習</li> <li>●インターンシップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●卒業論文</li> </ul>
		●学部共通科目		

## ■専門教育科目

### 基礎経済論講座

政治経済学Ⅰ・Ⅱ／初級マクロ経済学／中級ミクロ経済学／中級マクロ経済学／ミクロ・マクロ経済学セミナー／現代資本主義論／計量経済学／経済数学／経済学史／統計学／経済統計学

**学びの内容** 経済分析の基礎となる諸理論について、学説史を含めて検討するとともに、理論モデルに基づいて現実の経済社会を実証的に分析するための計量的手法について学習します。

### 比較経済論講座

経済学国際セミナー／海外キャリア・ディベロップメント・ワークショップ／国際貿易論／世界経済論／開発経済論／アジア経済発展論／EUの政治経済／グローバル化と政治経済／現代国際関係論／現代国際関係史／経済地理学Ⅰ・Ⅱ／労働経済論Ⅰ・Ⅱ／労使関係論／西洋経済史／日本経済史Ⅰ・Ⅱ／経済史／日本経済論／環境の経済学

**学びの内容** 本経済の構造およびそれを取り巻く世界経済の構造や国際関係などについて、歴史的、構造的に分析し学習します。

### 経済政策論講座

経済政策論Ⅰ・Ⅱ／産業組織論／公共経済学／社会政策／セミナー「働くということと労働組合」／社会保障論／日本の社会保障／財政学Ⅰ・Ⅱ／金融論Ⅰ・Ⅱ／国際金融論Ⅰ・Ⅱ／証券論／証券市場論

**学びの内容** 経済社会運営のための諸政策について、理論的、実証的に分析し、経済・社会政策、産業政策から財政・金融政策に至る広域な政策論を多面的に学習します。

## PICK UP LABORATORY



### ■研究室紹介

check!  
小野宏ゼミ

研究テーマ  
都市スプロールによる  
地方自治体への影響

小野 宏 准教授 Associate Professor, Hiroshi Ono

担当科目/地方財政論・計量経済学

財政学は、政府の経済活動について学ぶものです。自分とは直接関係がないように思うかもしれませんが、政府は、税金や年金、そして道路・図書館といった公共サービスの供給など、我々の日常生活と密接に関係しています。残念なことに、政府はいろいろな課題に直面しています。その1つとして、都市スプロールによる地方自治体への影響があります。都市スプロールというのは、無秩序なあるいは過度な都市の拡大のことをいいます。過度な都市の拡大が起こると地方自治体の歳入はどのくらい増えるのでしょうか？そして、早急に対処しなければならない地方自治体にはどのような特徴があるのでしょうか？最近はず主にこのようなことを研究しています。

# 経営システム学科

経営について適切な分析と  
解決策を提案できる人材を養成します。



## カリキュラム ※下記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全学共通科目</li> <li>●外国語科目</li> <li>●導入教育科目</li> </ul>			
専門基礎科目	専門基礎科目 ●経済学入門 ●初級マイクロ経済学 ●初級政治経済学 ●経営学入門 ●会計学入門 ●法学入門 ●地域学入門 ●イノベーション・マネジメント入門		<b>Pickup</b> <b>経営組織論</b> 企業組織についてその本質や機能に対する理解を深め、長期的な発展や成長を目指す組織のあり方を、実例をふまえて学びます。	<b>Pickup</b> <b>交通論</b> ヒト・モノの移動に関する、地域・社会の諸問題や、これらの問題に関係する主体・組織・経営行動・政策のありかたを、社会科学や社会学の手法を用いて考えます。
専門教育科目	<b>Pickup</b> <b>原価計算論</b> 本講義では、企業内の様々なコストを計算する方法を学習します。どのコストが高いか低いかを示すことで、経営者や従業員に仕事の仕方自体を変えていくよう仕向けることができます。	専門教育科目 ●経営組織論 ●経営情報論 ●経営学 ●企業論 ●交通論 ●マーケティング論 ●原価計算論 ●経営戦略論 ●人事システム論 ●企業ファイナンス論 ●会計学など  ●中級セミナー	●演習 ●インターンシップ	●卒業論文
		●学部共通科目		

## 専門教育科目

### 経営基礎論講座

経営学Ⅰ・Ⅱ／基礎経営論Ⅰ・Ⅱ／経営史／企業論／企業組織法Ⅰ・Ⅱ  
／経営情報論Ⅰ・Ⅱ／経営組織論／流通論／マーケティング論／国際経営論

学びの内容 企業経営や経営学の発展、会社組織や会社形態、経営戦略や経営心理の基礎、商業流通の原理を学習します。

### 経営行動論講座

産業・組織心理学Ⅰ・Ⅱ／経営戦略論／人事システム論Ⅰ・Ⅱ／企業ファイナンス論／交通論Ⅰ・Ⅱ／物流概論／国際物流論／企業取引法Ⅰ・Ⅱ

学びの内容 より実践的に、企業ファイナンス、交通、物流などを学習します。

### 会計情報論講座

会計学Ⅰ・Ⅱ／会社会計論Ⅰ・Ⅱ／監査論Ⅰ・Ⅱ／管理会計論Ⅰ・Ⅱ／原価計算論Ⅰ・Ⅱ／会計情報システム論／初級簿記／中級簿記／実践経営分析論Ⅰ・Ⅱ／上級簿記

学びの内容 会社経営に欠くことのできない会計データの作成技法である簿記から入門し、会計の理論と規則、外部への会計報告や監査、内部の管理に役立つ製品原価の計算や計画設定、経営分析などを学習します。

## PICK UP LABORATORY

### 研究室紹介



### 加納 拓和ゼミ

研究テーマ  
グローバル経営

加納 拓和 講師 Lecturer, Hirokazu Kano

担当科目/国際経営論、経営学Ⅰ、経営学Ⅱなど

近年、「グローバル化」という言葉がマスメディア等で頻りに用いられています。しかしながら、国際経営に関する諸研究においては、経済活動のグローバル化は世間で騒がれているほど進展しておらず、国家間で法制度や文化、商慣習が大きく異なる「セミ(中途半端な)グローバリゼーション」の状態にあることが示されています。それではいかなる国家間の差異が企業の活動に影響を与えるのでしょうか。あるいは、企業は海外市場に進出する際にいかにして「国家間の違い」に適応しているのでしょうか。本ゼミナールではこうしたグローバル経営に関する諸問題について研究しています。

# 地域システム学科

地域社会の再生・活性化のために  
ローカルな実践ができる人材を養成します。



## カリキュラム ※下記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全学共通科目</li> <li>●外国語科目</li> <li>●導入教育科目</li> </ul>			
専門基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経済学入門</li> <li>●初級ミクロ経済学</li> <li>●初級政治経済学</li> <li>●経営学入門</li> <li>●会計学入門</li> <li>●法学入門</li> <li>●地域学入門</li> <li>●イノベーション・マネジメント入門</li> </ul>		<p><b>情報社会論</b> 現代社会におけるメディア環境の変化をふまえ、情報と人、社会との関わり、コミュニケーションのあり方について社会学の立場から学びます。</p>	<p><b>都市経営論</b> 保育などの地方公共サービスにおける質と効率の両立、ごみ減量対策、インフラ老朽化やコンパクトシティなど幅広く自治体行政改革の課題を考えます。</p>
専門教育科目	<p><b>地方行政論</b> 現代の地方行政活動の法的諸問題を体系的に解明し、地方行政への関心を深めます。さらに、リーガルマインドの涵養を目指しています。</p>	<p>専門教育科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●現代英語論</li> <li>●情報社会論</li> <li>●現代ヨーロッパ社会論</li> <li>●異文化理解ワークショップ</li> <li>●地域構造論</li> <li>●地方行政論</li> <li>●都市経営論</li> <li>●農村発展論</li> <li>●地域福祉論</li> <li>●民法</li> <li>●経済法</li> <li>●労働関係法 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中級セミナー</li> <li>●演習</li> <li>●インターンシップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●卒業論文</li> </ul>
		●学部共通科目		

## 専門教育科目

### 地域情報文化論講座

情報社会論／メディア文化論／異文化間コミュニケーション論／多文化共生論／現代英・米社会論／英・米文化論／現代英語論／社会言語論／ヨーロッパ文化論／現代ヨーロッパ社会論／アジア文化論／現代アジア社会論／英語コミュニケーションセミナーⅠ・Ⅱ／地域文化資源論／異文化理解ワークショップ

**学びの内容** 異文化間コミュニケーション論、英米アジアなど各地域の言語文化論などを学習し、多文化共生社会の基盤を学ぶとともに、実用的な外国言語の運用能力の養成と向上を目指します。

### 地域経営論講座

地域経営論Ⅰ・Ⅱ／都市経営論Ⅰ・Ⅱ／地域分析論Ⅰ・Ⅱ／地域構造論Ⅰ・Ⅱ／地域発展論Ⅰ・Ⅱ／農村発展論Ⅰ・Ⅱ／農村再生セミナー／地域と商業／地域と交通／地域福祉論／公的扶助論

**学びの内容** 地域の経済社会の構造、都市と農村の現代の問題とそれに対する対応策、地域の生活、福祉の実情を調査研究し、課題と対応策などを中心に学習します。

### 地域行政論講座

地方行政論／地方財政論／憲法Ⅰ・Ⅱ／民法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ／労働関係法Ⅰ・Ⅱ／消費者と法／経済法／犯罪と法／行政法／租税法

**学びの内容** 行政学、憲法、行政法などの様々な分野から、今日の地域社会における地方行政の諸問題を究明するとともに、民法、労働法など私法分野の学習から、地域社会における経済活動や市民生活に関する法的な諸問題を研究し学習します。

## PICK UP LABORATORY



### 研究室紹介

check!

## 大呂興平ゼミ

研究テーマ  
国内外における農業・食料貿易の変動  
海外wagyu産業の動態

大呂 興平 教授 Professor. Kohei Oro

担当科目/ 経済地理学、食と農の地理学など

大分駅周辺の再開発、低迷する姫島漁業とその後継者不足、由布院に殺到するバスツアーの外国人観光客…。私たちが地域で目にするこうした出来事は、なぜ、どのように起き、何が問題となっているのだろうか。問題に対して現地の人びとや行政、自分自身には何ができるだろうか。大呂ゼミでは、教員の専門である農業・農村にこだわらず、地域の産業や社会をめぐる諸問題について、フィールドワークを通じてその背景やメカニズムを読み取り、将来の展望や問題解決の糸口について考える活動をしています。自ら問いを立て、人びととの対話の中からその答えを探す。こうした作業は、社会に出るうえでかけがえのない経験となるはずだ。

# 社会イノベーション学科

サービス開発・まちづくりの知見を備え  
地域活性化に貢献できる人材を養成します。

## カリキュラム ※下記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全学共通科目</li> <li>●外国語科目</li> <li>●導入教育科目</li> </ul>			
専門基礎科目	専門基礎科目 <ul style="list-style-type: none"> <li>●経済学入門 ●初級ミクロ経済学 ●初級政治経済学</li> <li>●経営学入門 ●会計学入門 ●法学入門 ●地域学入門</li> <li>●イノベーション・マネジメント入門</li> </ul>		Pickup <b>市場開発論</b> 市場開発に関する理論と実践を学習し、市場開発の基本的理解を踏まえ、新たな市場を創造する際の課題を分析する基礎的能力を習得します。	Pickup <b>イノベーションの経済学</b> どのような経済の仕組みがイノベーションを引き起こし、また逆にイノベーションがどのように経済の仕組みに影響を及ぼすのかを学習します。あわせてイノベーションについて経済学者がどのように考えてきたのかを学習します。
専門教育科目	Pickup <b>イノベーション社会論</b> ICTの革新に伴うコミュニケーションの変容や社会変動等の様々な社会現象を関連づけながら、社会学の観点からイノベーションの社会的・文化的な諸条件やプロセスを明らかにし、今後の政策的・実践的方策や社会システムのあり方を考えます。	専門教育科目 <ul style="list-style-type: none"> <li>●製品開発論 ●市場開発論 ●研究開発マネジメント論 ●ベンチャー起業論 ●社会調査法</li> <li>●イノベーション社会論 ●現代社会分析論 ●イノベーションの経済学 ●イノベーション学説史</li> <li>●進化経済学 ●制度の経済学 ●R&amp;Dの経済学 ●ゲーム理論 ●都市イノベーション論 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中級セミナー</li> <li>●サービス現場のフィールドワーク</li> <li>●学部共通科目</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●演習</li> <li>●インターンシップ</li> <li>●卒業論文</li> </ul>

## 専門教育科目

### イノベーションと経営分野

アントレプレナーシップ入門／大分のものづくりと地域づくり／製品開発論／市場開発論／組織革新論／研究開発マネジメント論Ⅰ・Ⅱ／ベンチャー起業論／金融イノベーション論／イノベーション戦略論／ベンチャー実践論／ビジネスモデル論／ブランド論

学びの内容 社会における新しい価値の創造の核となる企業経営上の革新を主な対象として、イノベーション・マネジメント、製品・サービス開発、アントレプレナーシップなどに関する教育研究を行います。

### イノベーションと社会分野

社会調査法／イノベーション社会論／現代社会分析論／イノベーション科学技術論／ソーシャルイノベーション論／NPO・NGO論／技術革新論／知的財産論

学びの内容 企業経営上の革新の手法が適用された公共部門における社会的な価値の創造について、地場企業・NPO等との協働・連携を視野に入れてソーシャルビジネスや社会調査に関する専門的な知識やスキルを習得し、地域社会の現場からの課題探求型学修を基礎とした教育研究を行います。

### イノベーションと経済分野

ゲーム理論／進化経済学Ⅰ・Ⅱ／イノベーションの経済学／イノベーション学説史／制度の経済学Ⅰ・Ⅱ／R&Dの経済学／都市イノベーション論／組織と情報の経済学／商取引の経済学

学びの内容 イノベーションの理解に関わる経済学からのアプローチとして、イノベティブな組織を構築するための制度や規制、地域や国全体の潜在能力を開花させるような政策を理論的に分析するため、ゲーム理論、制度の経済学等について教育研究を行います。

## PICK UP LABORATORY

### 研究室紹介



## 金子創ゼミ

研究テーマ  
経済分析の歴史

金子創 准教授 Associate Professor. Soh Kaneko

担当科目/経済学史、制度の経済学など

モノの売買は、一方で買いたい人がいて、他方で売りたい人がいることではじめて成立します。経済学の大きな目的は、そのように価値観や行動の異なる人々がいること、そしてその結果として起こる現象について説明し、評価することにあります。そうはいっても、経済現象のどのような側面に着目するかによって適切な分析方法も変わってくるでしょうし、実際、過去を振り返ってみると色々な観点が提案されてきました。経済を理解しようという取り組みが歴史的にどのような発展をたどってきたかを調べ、それによって多様な見方を身につけることを目指します。

成功から自信を掴み、  
失敗から学習する



インタビュー動画を  
ご覧いただけます

Shohei Oka  
**岡 将平**さん  
経済学部  
経営システム学科 3年  
(熊本県立済々黉高等学校出身)

経済学部を選んだのは、将来の夢が曖昧だった私にとって、他学部より将来の選択肢を広げるきっかけになるのではないかと思ったからです。留学制度が充実しているのも魅力でした。

経済学部は、4つの学科に分かれており、2年次から学科選択できるのが特徴です。私は、企業経営について深く学びたいと思い、経営システム学科に進みました。現在は、簿記から、経営にまつわるノウハウまで幅広く学んでいます。

経済学部の自治会活動にも打ち込んでいます。自治会に所属する先輩方の姿を見て、「自分もあんな風になりたい」と思ったのがきっかけです。ガイダンス補助やオープンキャンパス等で多忙な日々を過ごしていますが、自分たちが中心となって自治会を創り上げることに大きなやりがい

を感じています。

大学は、与えられた環境で与えられたことを行う今までの学生生活とは異なり、全てが自分主体になります。様々な場面において選択肢があり、その都度、「プラスになる選択は何か」「自分の良さを引き出すには？」等、考えなければいけません。しかし、そういった選択を経験していくことで、成功から自信を掴み、失敗から学習することができるのです。大学という環境が、自分自身を成長させてくれていると実感する毎日です。

卒業後は、様々な企業経営に携わっていきたいと考えています。また、日本国内のみならず海外にも目を向け、世界にも通用する企業経営を学び、社会に還元していきたいです。

勉強に、サークルにと  
充実した毎日



Chisato Takahiji  
**高藤 千聖**さん  
経済学部  
社会イノベーション学科 4年  
(宮崎県立宮崎南高等学校出身)

社会イノベーション学科の授業は、「大分における課題と解決」をテーマに、座学ではなく、自分たちで考え、行動することが中心となります。学生同士で、また、先生や外部の方へ向けてプレゼンテーションを行ったり、自分達で企画を作り上げ、実践したり。様々な活動を通して、イノベーションについて実践的に深く学べ、さらに、リーダーシップ性や学科の人たちとの協調性、外部との上手なかかわり方などを身に付けることができます。

サークル活動も楽しいです。私はバドミントンサークルに所属していますが、ただ単に運動するだけでなく、飲み会やキャンプ、運動会など多くのイベントがあり、たくさんの友達を作ることができました。

海外に興味があるため、海外の方との交流も積極的に行なっていま

す。長期休みを利用して、海外へ旅行やボランティアに行ったり、大分大学に来ている留学生のサポートを行い、互いの言語や文化を教え合ったり。海外の方と一緒に過ごすことで多くのことを学んでいます。

高校生までは自分の意見を人前で話すことがとても恥ずかしかったのですが、このように大学で様々な経験を積み、自分の意見を堂々と相手に伝えることができるようになりました。大きく成長できた点だと思っています。

将来は、公務員になることが目標です。公務員になった暁には、現在ある様々な環境をより良いものにし、多くの方々が住みやすい環境を作りたいと考えています。



大分大学  
学生支援部入試課 勤務

Yurika Morinaga

森永 夕里花さん (大分県立大分豊府高等学校出身)

[ 経済学部 地域システム学科卒業 ]



## 他分野も学んだことで、 自分の幅が広がった

高校生の時に受講した大分大学の出前授業がきっかけで経済学に興味を持ち、また、自分の将来の選択肢を狭めることなく学ぶことができるのではないかと感じ、経済学部を選びました。

現在は、学生支援部入試課で、一般選抜をはじめ学校推薦型選抜、総合型選抜等の学部入試に携わっています。主な業務としては、募集要項の作成、出願受付、試験準備、合格発表や入試の問い合わせの対応等です。

入試は、受験生の人生を左右します。当日の試験はもちろん、出願受付や合格発表も適切に実施するために、丁寧に、確実に準備を行わなければいけません。プレッシャーを感じることもありますが、入試の一連の流れが終わるたびにホッとすると同時に大きな達成感を得られます。

大学時代は、勉強、部活、アルバイトなど様々なことに追われる毎日でした。

特に部活動を引退するまでの約2年半は、練習や遠征等で慌ただしく過ごすことが多かったです。しかし、その中で養った精神力や忍耐力は社会人となった今、自分の糧になっているとひしひしと感じています。

2年生からは法律ゼミを専攻し、主に判例の勉強をしていました。特に印象に残っているのは、実際の裁判の傍聴をしたこと、模擬裁判に裁判員裁判の裁判員として参加したこと。このような体験を通じて様々な刺激を受け、また、社会の出来事に関心を向ける機会も得ることができました。他分野について学んだことが、自分の幅を広げることに繋がったのだと感じています。

大学生活は長いようであるという間に終わります。自由な時間が増える分、その時間をどのように使うかは自分次第です。勉強はもちろん、アルバイト、部活、旅行等たくさんの経験をして有意義な大学生活を送ってください。



三和酒類株式会社  
総務部 法務総務課 勤務

Ryoosuke Osaki

大崎 涼介さん (大分県立大分豊府高等学校出身)

[ 経済学部 経済学科卒業 ]

## ゼミで培った対人スキルで 仕事がスムーズに

私は現在、三和酒類株式会社 総務部 法務総務課に勤務しています。主な業務は、税務業務、法務業務、総務業務の3つ。税務業務ではお酒の酒税額を集計し確定させる業務等を、法務業務では他社と交わす契約書や、社内の稟議書や協議書のチェックを、総務業務では備品の管理・購入・仕入の他、様々な部署からの依頼をこなす「何でも屋」のような仕事をこなしています。直接お客様と顔を合わせる機会はなかなかありませんが、自分の業務を通して日本全国、そして海外のお客様へ商品が届けられていることに喜びや感動、やりがいを感じています。

今の部署は人数が少ないので、ゼミの感覚と似ています。わからないことがあればすぐに質問して教えてもらい、一人で解決できない課題には上司と一緒に取り組めます。少数制のゼミで「わからないことをすぐに聞く癖」や、

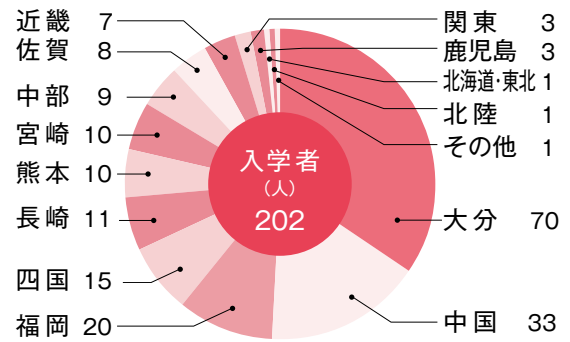
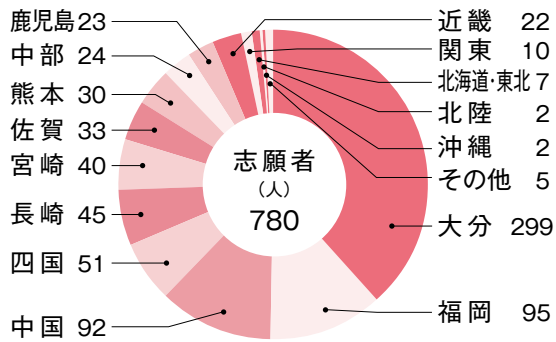
“コミュニケーションをたくさん取る癖”をつけていたからこそ、業務がスムーズに行えるのだと日々実感しています。

私は、「将来大分の企業に就職したい!」「生まれ育った大分の地に少しでも貢献し、活躍したい!」という強い思いを持って大分大学進学を決めました。大分は豊かな自然に囲まれた、住むにはもってこいの場所です。大分の人は地元「大分」の魅力を感じつつ、「大分」の抱えている課題や問題を学んでほしいと思います。県外の方は、自分の住んでいる土地にはない、未知の場所「大分」の魅力を感じ、どっぷりはまってほしいと思います。そして将来的に「大分」を日本一魅力のある県にする人財になってください。私もいずれ何らかの形で「大分」に貢献できるよう、もっともっと努力したいと考えています。

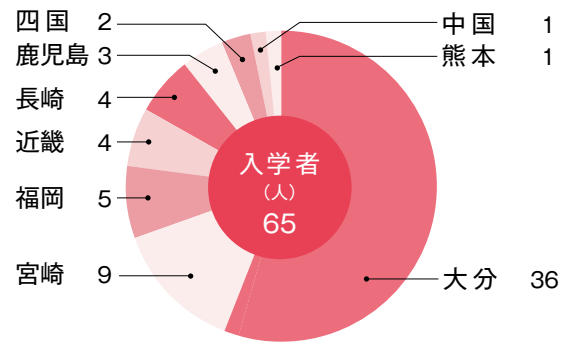
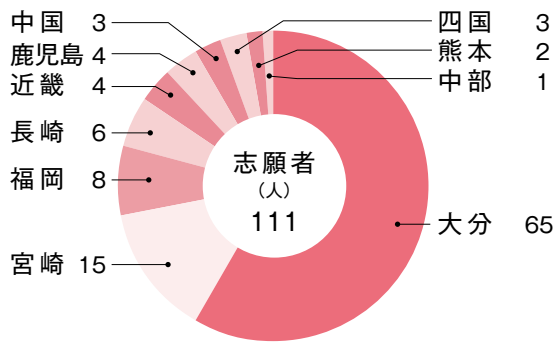
# 入試情報 Entrance Examination Information

## 経済学部

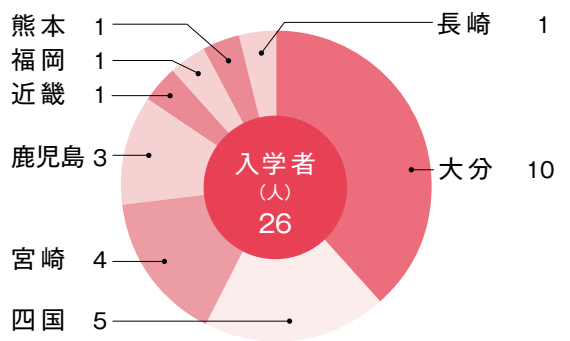
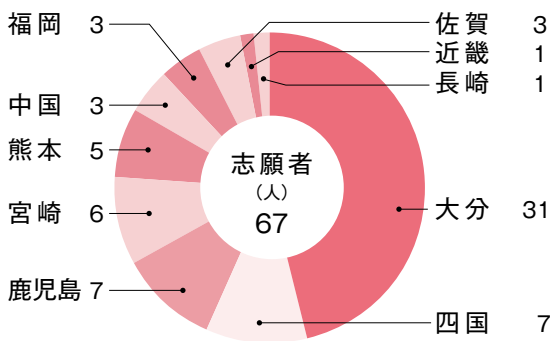
一般入試



推薦入試



AO入試



### 2020年度大分大学入学試験状況

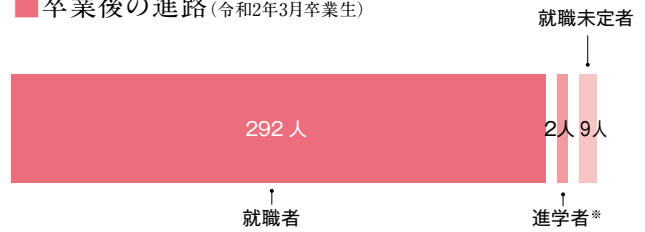
学部・学科・コース	入試区分				一般入試(前期日程)				一般入試(後期日程)				推薦入試				AO入試				特別入試(帰社私)				合計					
	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学
経済学部																														
経営システム学科																														
地域システム学科	120	332	322	140	128	80	448	167	93	74	65	111	111	65	65	25	67	63	26	26	若干	17	16	2	1	290	975	679	326	294
社会イノベーション学科																														
合計	120	332	322	140	128	80	448	167	93	74	65	111	111	65	65	25	67	63	26	26	若干	17	16	2	1	290	975	679	326	294

# 就職実績

## ■就職率 (令和2年3月卒業生) ※就職希望者に占める就職者の割合

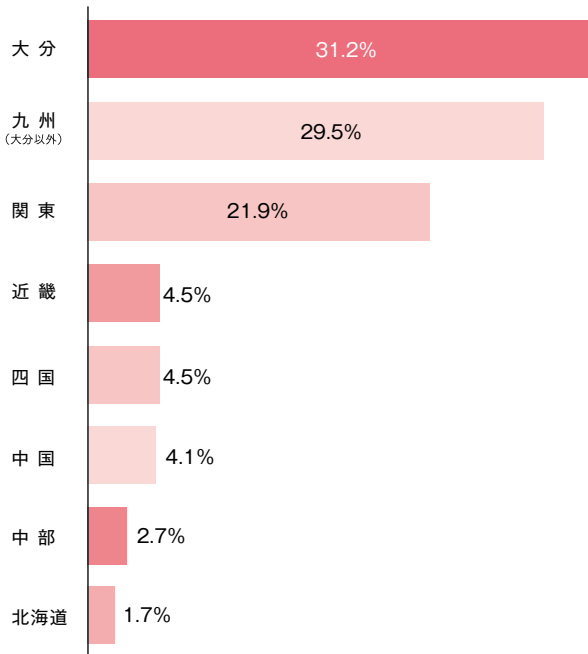


## ■卒業後の進路 (令和2年3月卒業生)

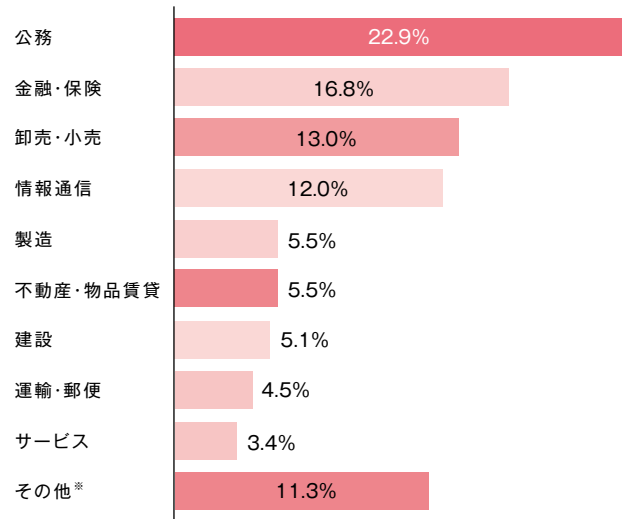


※「進学者」は、大学院・研究科、大学学部、短期大学本科、専攻科、別科に進学した者の数です。

## ■地区別就職情報 (総数292人対象)



## ■産業別就職情報 (総数292人対象)



※その他の内訳

「漁業」「電気・ガス・水道」「学術・専門技術等」「宿泊・飲食サービス」「生活関連・娯楽」「教育・学習支援」「医療・福祉」

## ■主な就職先 (平成29～令和元年度卒業生・修了生)

### 経済学科

(独)住宅金融支援機構、(株)大分銀行、(株)豊和銀行、楽天銀行(株)、大和証券(株)、大分みらい信用金庫、大分県信用組合、損害保険ジャパン日本興亜(株)、(株)一条工務店、パナホーム(株)、昭和電工(株)、三和酒類(株)、日本製鉄(株)、西日本電線(株)、大日本印刷(株)、九州電力(株)、(有)大分合同新聞社、(株)大宣、西日本鉄道(株)、日本通運(株)、JR九州商事(株)、トラスコ中山(株)、大分トヨタ自動車(株)、コスモス薬品(株)、(株)トキハ、柳井電機工業(株)、JR九州ホテルズ(株)、JAグループ、日本郵便(株)、東京法務局、大分労働局、大分県庁、大分市役所 他

### 地域システム学科

(株)日本政策金融公庫、(株)大分銀行、(株)豊和銀行、(株)西日本シティ銀行、野村証券(株)、大分県信用組合、東京海上日動火災保険(株)、大和ハウス工業(株)、(株)極洋、(株)湖池屋、ダイハツ九州(株)、べんてる(株)、(株)マキタ、J:COM大分ケーブルテレコム(株)、(株)RKKコンピュータサービス、(株)オーイーシー、(株)アステム、国分グループ(株)、ヤマエ久野(株)、郵船ロジスティクス(株)、(株)エフ・ティー・シーホテル開発、JAグループ、日本郵便(株)、九州厚生局、福岡国税局、大分労働局、大分県庁、佐賀県庁、大分市役所、大分県警察 他

### 経営システム学科

日本銀行、(株)大分銀行、(株)宮崎銀行、内藤証券(株)、大分県信用組合、(株)オーシー、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(株)一条工務店、積水ハウス(株)、アサヒビール(株)、エスピー食品(株)、大分キャノン(株)、凸版印刷(株)、昭和電工(株)、大鵬薬品工業(株)、久光製薬(株)、日本電気(株)、四国ガス(株)、(有)大分合同新聞社、(株)オービック、モバイルクリエイト(株)、鶴崎海陸運輸(株)、日本航空(株)、(株)内田洋行、三菱食品(株)、(株)セブンイレブンジャパン、(株)船井総合研究所、JAグループ、国土交通省、大分県庁、大分市役所、福岡県警察 他

### 社会イノベーション学科

※2020年度卒業生が第1期卒業生である。

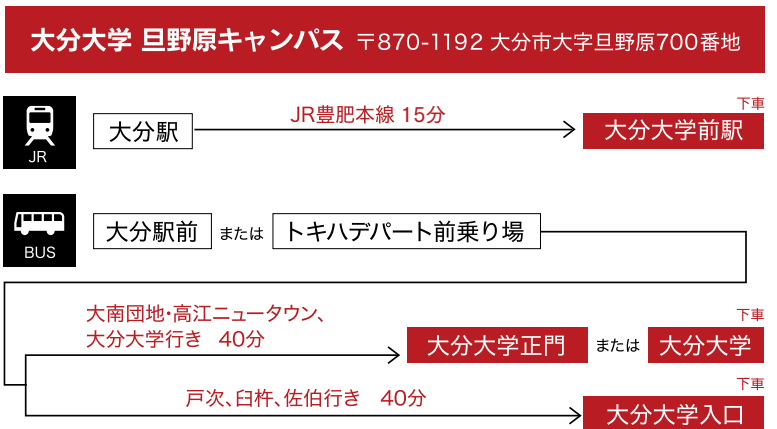
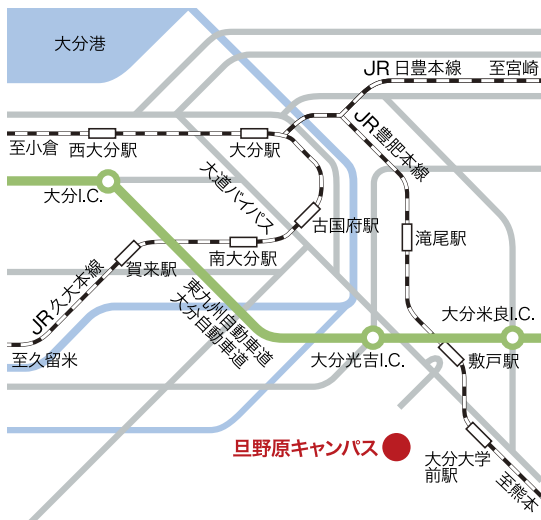
# 沿革

## 1. 大分高等商業学校・大分経済専門学校

大正 8年 3月	第41帝国議会の協賛により、大分高等商業学校の設置決定。	昭和 7年 5月 5日	開校10周年記念式典を挙行了した。
大正 10年 12月 9日	勅令第456号により、文部省直轄学校管制に大分高等商業学校を追加、位置を大分市宇上野とした。	昭和 12年 5月 5日	開校15周年記念式典を挙行了した。
大正 11年 4月 9日	第1回入学式を挙行了した。入学者152名。	昭和 16年 7月 15日	経済研究所を創設した。
大正 12年 6月 6日	開校式を挙行了した。	昭和 17年 5月 5日	開校20周年記念式典を挙行了した。
大正 14年 3月 9日	第1回卒業式を挙行了した。卒業生110名。	昭和 19年 3月 28日	勅令第165号の公布により大分経済専門学校となった。
昭和 2年 6月 6日	開校5周年記念式典を挙行了した。	昭和 26年 3月 31日	法律第84号をもって国立学校設置法の一部を改正する法律が公布され、大分経済専門学校は廃止された。

## 2. 大分大学及び経済学部のあゆみ

昭和 24年 5月 31日	国立学校設置法により大分大学が設立され、経済学部並びに学芸学部が設置された。	平成 11年 4月 1日	大学院経済学研究科(修士課程)に経済社会政策専攻及び地域経営政策専攻が設置された。それに伴い経済学専攻は廃止された。
7月 8日	経済学部第1回入学式を挙行了した。入学者135名。	5月 31日	大分大学開学50周年式典を挙行了した。
昭和 28年 3月 15日	経済学部第1回卒業式を挙行了した。卒業生114名。	平成 14年 4月 1日	大分大学コミュニティ総合研究センターの発足に伴い、経済研究所が廃止されるとともに、その業務の一部を引き継いで教育研究支援室が設置された。福祉社会科学研究科が設置された。
昭和 31年 3月 31日	経済学専攻科の設置が認可された。	5月 25日	開校80周年記念式典を挙行了した。
昭和 32年 5月 5日	開校35周年記念式典を挙行了した。	平成 15年 10月 1日	大分大学と大分医科大学が統合し、新たに大分大学となった。
昭和 34年 5月 31日	大分大学開学10周年記念事業を行う。	平成 16年 4月 1日	国立大学法人法(法律112号)の制定により、大分大学は、国立大学法人となった。
昭和 36年 10月 15日	開校40周年記念式典を挙行了した。	平成 18年 4月 1日	大学院経済学研究科修士課程にコース制が導入された。
昭和 39年 7月 29日	大学移転統合敷地を判田(旦野原)地区とすることが評議会において決議された。	平成 19年 4月 1日	大学院経済学研究科に博士後期課程地域経営専攻が設置された。これに伴い、修士課程は、博士前期課程に名称変更された。
昭和 40年 12月 17日	大分大学移転工事の起工式を挙行了した。	5月 9日	地域経済研究センターが設置された。
昭和 43年 4月 12日	経済学部棟の起工式を挙行了した。	平成 24年 6月 30日	開校90周年記念式典を挙行了した。
昭和 44年 4月 1日	経済学部は本部及び附属図書館と共に旦野原に移転を完了した。	平成 29年 4月 1日	経済学部の学科が改組され、従来の経済学科、経営システム学科、地域システム学科の3学科から、経済学科、経営システム学科、地域システム学科、社会イノベーション学科の4学科体制となった。
昭和 47年 5月	工学部が創設され機械工学科並びに電気工学科が設置された。		
5月 28日	開校50周年記念式典を挙行了した。		
昭和 52年 4月	大学院経済学研究科(修士課程、経済学専攻)が設置された。		
昭和 57年 6月 6日	開校60周年記念式典を挙行了した。		
平成 4年 5月 30日	開校70周年記念式典を挙行了した。		
平成 6年 4月 1日	経済学部の学科が改組され、従来の経済学科並びに経営学科の2学科から経済学科、経営システム学科、地域システム学科の3学科体制となった。		



# 大分大学経済学部

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

総務係	TEL 097-554-7652
学務係	TEL 097-554-7656